

# 「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」

（「北九州市次世代育成行動計画」点検・評価）

## 評価一覧表

政策	施策番号	施策名	5か年総合評価(A~D)
1 安心して生み育てることができる環境づくり	(1)	母子保健	<b>B</b>
	(2)	母子医療	<b>A</b>
	(3)	子育ての悩みや不安への対応	<b>C</b>
	(4)	家庭の教育力の向上	<b>B</b>
	(5)	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	<b>B</b>
	(6)	安全・安心なまちづくり	<b>B</b>
2 子どもの育ちを支える幼児期の学校教育や保育の提供	(7)	幼児期の学校教育や保育の提供	<b>B</b>
3 子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	(8)	放課後児童クラブ	<b>B</b>
	(9)	青少年の健全育成	<b>B</b>
	(10)	子ども・若者の自立や立ち直りの支援	<b>A</b>
4 特別な支援を要する子どもや家庭への支援	(11)	社会的養護が必要な子どもへの支援	<b>A</b>
	(12)	ひとり親家庭等への支援	<b>B</b>
	(13)	児童虐待への対応	—
	(14)	障害のある子どもへの支援	<b>B</b>

《参考：点検・評価のための市民アンケートの調査等について》

令和元年度

①無作為抽出によるアンケート調査

	配布数	回収数	回収率
未就学児の保護者	1,200 通	558 通	46.5%
小学生の保護者	1,200 通	622 通	51.8%
中高生の保護者	1,200 通	534 通	44.5%
18歳～39歳男女	1,450 通	414 通	28.6%
計	5,050 通	2,128 通	42.1%

②施設を通じたアンケート調査

	配布予定数	回収数	回収率
幼稚園児の保護者	(405 通)	137 通	(33.8%)
保育園児の保護者	(432 通)	294 通	(68.1%)
計	(837 通)	431 通	(51.5%)

※新型コロナウイルス感染症対策による休園等により、可能な範囲で実施した。

※H30 年度無作為抽出回収率 34.0%

施設経由回収率 94.0%

## 5 か年総合評価の方法について（詳細版）

各評価については、概ね以下の評価基準とする。

### 《活動の評価》

評価区分		評価基準
1	達成	・実績値が計画目標値に比べ 10 ポイント以上（相当）上昇した事業 ・計画目標の達成率が <u>100%以上（相当）を推移</u> （上位を推移）している事業 ・ほぼ、 <u>目標に達している事業</u>
2	概ね達成	・実績値が計画目標値に比べ 10 ポイント未満（相当） <u>上昇した事業</u> ・計画目標の達成率が <u>90~100%未満（相当）</u> であり、ほぼ現状値どおりの状況を推移している事業
3	やや遅れ	・現状値から改善はしているが、計画目標の達成率が <u>70~90%未満（相当）</u> である事業
4	遅れ	・計画目標の達成率が <u>69%以下（相当）</u> であり、現状値から改善が見受けられない事業

### 《成果の評価》

計画初年度(H27 年度)と最終年度(R1 年度)の比較により評価を行う(※)。

評価区分	評価基準
1	・ H27 年度に比べ上位となっている。 (R1 実績値が H27 年度に比べ <u>10 ポイント以上（相当）上昇したもの</u> ) ・ 概ね目標に達している。
2	・ H27 年度に比べ上位となっている。 (R1 実績値が H27 年度に比べ <u>10 ポイント未満（相当）上昇したもの</u> ) ・ ほぼ現状どおりの状況を推移している。
3	・ H27 年度に比べ下位となっている。 (R1 実績値が H27 年度に比べ <u>10 ポイント未満（相当）下降したもの</u> ) ・ ほぼ現状どおりの状況を推移している。
4	・ H27 年度に比べ下位となっている。 (R2 実績値が H27 年度に比べ <u>10 ポイント以上（相当）下降したもの</u> )

- ・ 目標を「100%」としているものは、目標を「増加」としているものと同様に評価する。  
(100%達成に近づけるという主旨であるため)
- ・ 数値目標があるものは、《活動の評価》の手法に準じ、達成率で評価する。

※本来であれば、計画策定時に設定した基準値(H25 年度値)との比較により評価を行うべきであるが、調査対象数の異なるアンケート調査の結果を指標として比較することとなるため、第 2 次計画では、同じ対象数のアンケート調査結果の比較により評価を行う。なお、H26 年度値も調査対象数が異なる。

(H25 ニーズ調査:17,000 人、H26 アンケート調査:800 人、H27~R1 アンケート調査:5,850 人)

### 《総合評価》

評価区分			成果の評価			
			1	2	3	4
活動 の 評 価	1	95%~	A	B	C	D
	2	70~95%	B	B	C	D
	3	40~70%	C	C	C	D
	4	~40%	D	D	D	D

※評価区分の【活動の評価】は、施策の事業数のうち、事業評価が「大変順調」「順調」の合計数の割合。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| A：大変良い状況にある      | B：概ね良い状況にある |
| C：概ね良い状況とまでは言えない | D：不十分な状況にある |